

生労働省は学童保育を原則開所としました。密を避けるため、放課後児童クラブについては「児童1人につき畳1畳分、おおむね40人」という基準を見直す必要があると思うが、市の考えを伺います。

また、子どもの命や遊びを大切にするため、放課後児童クラブの指定管理者制度をやめ、根本的に見直すべきと思うが、市長の考えを伺います。

○**こども未来部長**
①今年3月から5月までの児童虐待の通告件数は98件で、前年同時期に比べ30件増加しています。

要保護児童対策地域協議会で見守り対象となつている児童や特定妊婦の状況を原則週1回以上、電話や訪問により確認しています。また、SNS相談窓口の開設については本市でも調査研究を行つていきたいと考えています。

②3密を避けるため事前に学校に協力を仰ぎ、必要スペースを確保して安全な保育の実施に努めています。基準の見直しは、今後国や県の動向を注視していきたいと思ひます。

○**市長**
①児童相談所の役割は大変重要であると考えています。設

置については機会を捉え、県に對し要望していきます。
②今後においても子どもたちの健全な育成を第一に考え、適切に放課後児童クラブを運営していきます。

**(1)子どもを守り育てる学校に
(2)少なすぎる職員を増やして、
市民に寄り添う体制を**

(1)緊急事態宣言が全面解除され、休校が続いていた学校も6月から再開しました。求められるのは一人一人を大切に

する教育です。
①マスク、消毒液、非接触体温計、ペーパータオルなど物品の確保はどうですか。

②「密集・密接」を避けるには、1教室何人が適当ですか。現在の1学級の人数はどうなつていますか。

③「密集・密接」を避けるために、今こそ少人数学級の実施が必要と考えますがどうですか。

④「席の間隔の確保、歌唱指導、体育などの身体接触、給食は前を向いて、遊具では遊ばないで」など機械的に注意ばかりしていたら信頼関係が失われます。柔軟な対応が必要と考えますがどうですか。

⑤学習の遅れを取り戻すために、忙しく窮屈な学校生活を

強いれば、負担が増え、かえって「感染リスク」を高める子ども・教職員の過度な負担とならないよう、これからの学校には、本場の「ゆとり」が必要と思ひますがどうですか。

⑥子どもの貧困が深刻になっています。就学援助を生活保護基準の1・3倍から1・5倍に戻すべきと思ひますがどうですか。また、教育長に基本的な考えを伺います。

(2)現在の職員数では、新型コロナウイルス感染防止対策や災害が重なることが極めて困難になります。職員数を大幅に増やしていくことが必要です。

⑦定員管理計画を、どのように見直ししているのですか。せめて、施行時特例市36市の平均数1135人にする必要がありすが、どうですか。

○**学校教育部長**
①学校ごとや教育委員会で一括購入し確保に努めています。

○**学務指導担当部長**
②おおむね20人以下が適当と示されています。小学校は、30人以上34人以下が一番多く137学級、中学校および義務教育学校後期課程は、35人以上が102学級です。

③少人数での学習は有効と考

えています。少人数での学級編成は国の定数改善が必要で、国および県に引き続き要望することも必要と考えています。
④これまで以上に丁寧な見守りや声かけを行い、一人一人の心情に寄り添い、主体性を引き出しながら、心の成長につなげていきます。

⑤過度な負担とならないよう学校行事の取り組みや授業の進め方を工夫して教育活動に取り組んでいきます。

⑥現状を維持していきます。
○**教育長**
⑥児童・生徒の安全と安心に配慮しつつ、保護者や地域の皆さまと協力して、知徳体のバランスの取れた教育に取り組んでいきます。

○**総務部長**
⑦仕事と子育ての両立や長時間労働の是正など国の進める働き方改革に對応した計画にするよう検討しています。各課の状況を把握して適切な人事配置ができるようにします。

○**副市長**
⑦職員定員管理計画を見直し、職員定数を増やしていく新たな計画を策定していきます。本市の実情に即して適切な職員数の確保に努めていきます。

しかし、2019年12月に「日本小児科医学会」は、各自治体首長宛てに「子宮頸がんワクチン接種通知についてのお願い」として接種勧奨ではなく周知のための通知を実施

している。国は、2010年度にHPVワクチンの公費助成を開始し、2013年4月から定期接種を受ける事ができるようになりました。ですが、ワクチン接種者から「健康被害報告」が相次いだことから、同年6月には接種の積極的な勧奨を中止健康被害との因果関係が認められないため、定期接種ではあるものの個別通知などによる周知を取りやめるなどの対応が続いています。

公明党

木村 圭一 鈴木 一利
荒木 洋美 武 幹也
栗原 信司 中川 朗

**子宮頸がん予防ワクチン
情報提供について**

子宮頸がんは女性の子宮の入り口付近にできるがんで、日本では毎年約1万人近くの女性が罹患し、約3000人が亡くなつており、大変深刻な状況となつています。国は、2010年度にHPVワクチンの公費助成を開始し、2013年4月から定期接種を受ける事ができるようになりました。ですが、ワクチン接種者から「健康被害報告」が相次いだことから、同年6月には接種の積極的な勧奨を中止健康被害との因果関係が認められないため、定期接種ではあるものの個別通知などによる周知を取りやめるなどの対応が続いています。

しかし、2019年12月に「日本小児科医学会」は、各自治体首長宛てに「子宮頸がんワクチン接種通知についてのお願い」として接種勧奨ではなく周知のための通知を実施

し、対象者へ正確な情報を伝えるよう要望書を提出しています。正しい情報を知って接種の判断をしていただくためにも、少なくとも定期接種の最終学年である高校1年生には個別通知による確実な情報提供を実施する必要があると思いますがいかがでしょうか。

○健康保険部長

個別通知による情報提供の実施について、ワクチン接種後の症状として慢性疼痛や機能性身体症状など、重い症状が報告されており、また因果関係についても、明確な結論は得られていない状況です。

このような中、厚生労働省からの通知では、接種の積極的な勧奨とならないよう留意することとされています。

なお、本市においても、予防接種後に発症した症状について、副反応報告が出されている事例がありますので、市としても、慎重に対応する必要がありますが、あるものと考えています。

現在、国において、接種対象者へ正しく情報が伝わるよう、情報提供の方法等について協議が行われています。積極的な勧奨とならない範囲の中での周知、広報については、国における協議の進捗を注視

プレミアム付商品券の発行について

2015年、新市施行10周年を記念して発行された商品券は、プレミアム率30%を乗せたことにより、地域経済を力強く支えることができた大変な評判でした。

本年は、新市施行15周年に当たります。新型コロナウイルス感染症の吹き飛ばすことを目指し、今再び、プレミアム付商品券を発行すべしと思えます。

また、外国人の訪日客が激減し、全国の観光地での売上がほぼ皆無となり、苦慮しているとの報道がありました。反面、日本人の国内旅行に占める割合は全体のおよそ8割との調査結果もあります。

そこで今後、新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せ、自粛解除のあかつきには、特別定額給付金でプレミアム付商品券を購入し、この商品券を使い、市内のお店でお土産を買って、全国各地へ春日部市民

が元気に飛び出して行けるよう、一刻も早くプレミアム付商品券の発行とともに、プレミアム付旅行券の発行ができるよう要望し、プレミアム付商品券導入への市の考えを伺います。

○環境経済部長

プレミアム付商品券については、一定期間における集中的な経済効果が期待できる事業の一つとして認識してまいります。実施に当たっては、今回の影響を考えると、単なる消費喚起だけでなく、客足が遠のいてしまった事業者に対して応援するものにする必要があります。市としては新型コロナウイルスの感染状況、国や県の動向を注視しつつ、プレミアム付商品券を含め、より有効な市内経済活性化策を検討してまいります。

プレミアム付旅行券については、現在、政府が推進している国内観光の需要喚起策の一つとして認識しています。市としても感染拡大以降、観光関連の経済的影響は相当大きなものと認識しています。

今後、国の動向や感染症の状況を注視しながら、春日部にお越しいただいた方々に喜んでもらえるような施策を考

避難所における感染症対策について

感染症防止には、「3密」を避けることが基本となります。しかし、過去の災害時には、避難所に入りきれないほど住民が避難してきたケースが少なくありません。このため、感染症発生時の避難所は過密を抑制するために避難先を分散させる必要性があります。そこで、春日部市の分散避難への体制整備はどのように考えているのか。また、その周知方法について伺います。

そして、感染症発生状況下の災害発生を想定した避難訓練の実施について伺います。

○市長公室長

分散避難への体制整備ですが、今後避難所以外への分散避難を促し、避難所での過密を抑制していきたいと考えています。具体的には、自宅での安全確保ができる場合は在宅での避難を、在宅避難が難しい方は、安全が確保できる

親戚や知人宅への避難や、現在協議を進めている大型商業施設等の立体駐車場を活用した車中泊等の検討をお願いし、感染症と自然災害の複合災害

に備えていきたいと考えています。

周知については、広報7月号に新型コロナウイルス禍で考える適切な避難方法などの記事を掲載予定ですが、また、ホームページや安心安全メールなども活用し、周知に努めてまいります。感染症が収束しない中で、災害発生を想定した訓練は必要と考え、現在調達を進めている感染症対策のための資材等が納品されたら、まずは避難所担当者向けの研修を実施し、その後自主防災組織等への訓練に組み入れていきたいと考えています。



間仕切りシステムの活用イメージ

NHKから 国民を守る党

酒谷 和秀

「#ハッシュタグ」 「春日部コロナアクション」 について

春日部市内の個人店・企業の皆さまを支援するプロジェクトである「#春日部コロナアクション」について、以下伺います。

①#(ハッシュタグ)の意味が理解しやすいように事業の概要②この事業が始まってから現在までの評価③この事業はSNS(主にツイッター・フェイスブック・インスタグラム)を利用して店舗情報を拡散するのだが、動画系のSNSとして発信力と拡散力に優れているユーザーを想定していないのはなぜか。

○環境経済部長

①この事業は、春日部駅東口商店会連合会の中の粕壁商店街NEXTプロジェクトメンバーが立ち上げたもので、テークアウトやデリバリー、手作りマスクなど、各個店が取り組むコロナ対策の情報をお店と住民の双方がSNSで発信して交流を活性化させることで、売上げの向上、感染防

止に関する情報を提供しようとするものです。

なお、頭の「#」はSNS上で情報を集約するためのタグで、キーワードの前に付くとSNS上で瞬時に検索が可能となります。同じ「#」が付いた投稿はまとめて閲覧でき、利用者が必要な情報にアクセスしやすくなります。

②現時点で掲載店舗数が270を超え、閲覧数も2万件を超えるなど、お店の売上げ向上だけでなく、SNSを介してお店と住民の交流も盛んになっており、双方から好評をいただいています。

③情報を発信するお店の皆さまによると、日々の営業時間や日替わりテークアウトメニュー等、スピード感が必要な情報を発信するには写真投稿で十分であり、動画だと編集作業があつて大変といった意見がありました。



無所属

井上 英治

市民の心に響く 武漢ウイルス対応は何か

今回の禍は「新型」とか「コロナ」ではなく、「武漢ウイルス」禍と呼ぶべきと考えます。そこで、以下について伺います。

①これに対する市独自の対応は何かあったのか
②第2波に備えた、第1波の反省点は何かあったのか
③医療センターの補正予算が出していないが心配なののか
④今後の対策として非接触型体温計の外來患者・来庁者への活用は行わないのか

○総合政策部長

①市の主な独自施策としては、市内事業者への支援、水道基本料金の4カ月間無料化、経済的に厳しい状況にある子育て世帯への支援金給付が挙げられます。このほか、医療従事者に感謝の気持ちを込めた古利根公園橋のブルーライトアップ、感謝のメッセージをのせた青色ステッカーを公用車に掲示、妊婦の方を対象にメッセージを添えたマスクの

配付、臨時休校中の児童の学習支援のために学習支援動画を作成して掲載するといったことを実施しました。

②現在実施している段階なので、反省点を議論するには時期尚早かと考えています。

○病院事務部長

③感染症対策の取組は既存の予算内で対応ができていますので、今後の補正予算については感染状況や必要とされる医療体制などを鑑みながら対応していきたいと考えています。
④現在メインエントランスの風除室に職員を配置し、患者さんの症状に応じて非接触型体温計で検温をしています。今後は患者さんが職員に声をかけやすいような工夫をしていきたいと考えています。



●感染拡大を防ぐために

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染が流行している地域への移動は控えましょう。どうしても外出する必要があるときは、マスクや清潔なタオル・ハンカチなどで口元を保護し、クラスター（集団）感染の起こりやすい3つの条件を満たす場所を避けましょう。



●熱中症にも注意しましょう

**次の定例会は
8月24日(月)
午前10時
開会予定です**

市議会ホームページ のご案内

市議会ホームページでは、議員名簿、会議日程、一般質問発言通告一覧などを掲載しています。

また、会議録の閲覧・検索や、インターネットによる本会議生中継・録画中継で、議会の様子をご覧いただけます。

スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



QRコード

議会の本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の本会議および委員会の傍聴につきましては、当面の間、できる限りお控えいただくよう、お願いすることといたしました。

本会議の審議の様子は、インターネット議会中継でご覧いただくことができますので、ご利用ください。

なお、傍聴される場合は、次の点にご協力いただきますようお願いいたします。

- ・マスクの着用
- ・手指消毒液の使用
(傍聴受付に用意しています)
- ・他の傍聴人との距離を空けて着席



閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

5月20日

・令和2年第1回(5月)臨時会の運営について

5月25日

・令和2年6月定例会の運営について

7月6日

・令和2年第2回(7月)臨時会の運営について

▽広報広聴委員会

6月26日

・議会だより第60号について

7月3日

・議会だより第60号について

6月26日

・令和2年度購入図書申し込みについて

編集後記

新型コロナウイルス対策を早急に進めるため、急ぎよ5月に臨時議会が開催されました。今年度の全議員の政務活動費をほぼ半減する条例を制定し、コロナ対策に充てるよう市に求める要望をしたほか、水道の基本料金を4カ月分無料にすることを含む、補正予算を成立させました。

定例の6月議会においても国の給付金支給に係る事務作業の進展や、市独自の支援事業、再開された小中学校での感染症と熱中症対策の両立など、コロナ対策に関する議論に多くの時間を費やしました。今年度は、マスクを着けながら過ごす夏ということで、例年以上に、体調管理に気を配ることが求められます。市民の皆さまにおかれましては、くれぐれもご自愛ください。最後に、この議会だよりを編集する広報広聴委員会のメンバーが新しくなりました。市政、また市議会での議論を少しでも分かりやすく市民の皆さまにお届けするよう委員一同、努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



広報広聴委員会

(令和2年7月1日現在)

委員長 古沢 耕作

副委員長 坂巻 勝則

委員 酒谷 和秀

委員 榛野 博

委員 水沼日出夫

委員 今尾 安德

委員 永田 飛鳳

委員 木村 圭一

オブザーバー

議長 佐藤 一

副議長 鈴木 一利

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116